

## 第7章 まちづくりのために

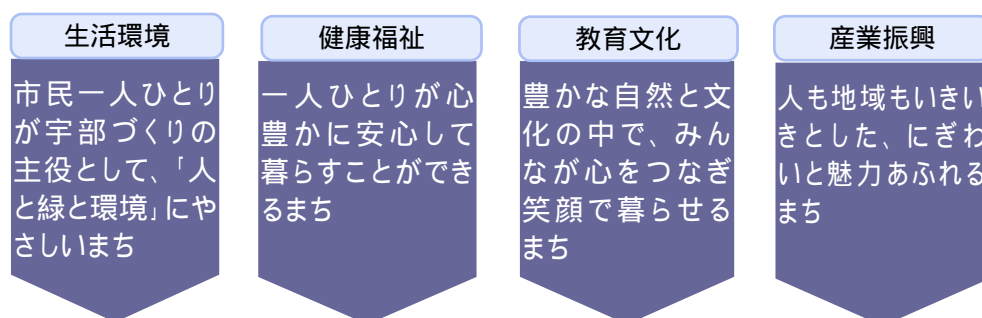
### 1 まちづくりの進め方

求める都市像である“みんなで築く 活力と交流による元気都市”を実現していくためには、分野ごとに取組を進めるのではなく、課題解決に向けて、総合的かつ効果的にまちづくりを進めることが必要です。

本市のまちづくりのキーワードとして、“環境”、“安心”、“健康”、“市民力”、“地域ブランド”の5つを掲げ、目指すべきまちづくりの方向を共有し、各分野の取組を連携させながら、まちづくりを進めます。

また、まちづくりに当たっては、新市建設計画に掲げられた各種事業の進捗にも配慮するなど、各地域の元気を創出し、全市域の元気につながる取組を進めます。

#### まちづくりのキーワードと方向性



#### 環境

市民との協働により、地域環境力を高めます。

#### 安心

住みよく、安心して暮らせる生活環境を創ります。

#### 健康

市民みんなが参加して、健康づくりの輪を広げます。

#### 市民力

人ちからを高め、市民力を伸ばします。

#### 地域 ブランド

地域資源活用による“宇部ブランド”を創造・発信します。

## 2 まちづくり戦略

まちづくりのキーワード：環境

### (1) 目標

市民との協働により、地域環境力を高めます。

### (2) 目指すべきまちの姿

- ・ 環境保全・美化活動や省エネ活動、公共交通の利用など、市民一人ひとりのエコに対する意識が高まり、低炭素社会の形成に向け、まちの環境負荷が低減されています。
- ・ 自然環境の保全や市街地の緑化、親水空間の創出により、緑豊かな街並みが形成されています。
- ・ これまでの環境対策へ取組が継承され、産官学民の連携による環境共生都市が実現しています。

### (3) 取組内容

#### 生活環境

産官学民が連携した「宇部方式」により大気や水質などの環境改善を図ります。環境負荷の低減効果を市民と共有し、家庭での環境活動を進めます。市街地の緑化や親水空間の創出を図り、宇部市独自の景観形成を進めます。エコカー、公共交通、自転車の利用を促進し、温室効果ガスを削減します。太陽光発電などクリーンエネルギーの利用環境を整備します。ボランティア団体と連携し、協働による環境にやさしいまちづくりを進めます。

#### 教育文化

環境の取組と学校が連携して、実践的な環境教育を推進します。

#### 産業振興

産官学民の連携により環境ビジネスを創造し、産業の活性化を図ります。環境に関する技術開発の成果を、環境に配慮したまちづくりに生かします。

### **「地域環境力」**

「平成 15 年版環境白書（環境省）」において使用された言葉で、地域全体で望ましい目標を共有しながら、より良い環境を創造しようと取り組む意識や能力のことをいい、この「地域環境力」があって、地域全体として環境保全の取組を効果的に進めていくことが可能となるものです。

### **「環境共生都市」**

地球温暖化対策や循環型社会の形成、自然環境の保護など総合的な環境対策に取り組み、豊かな自然に囲まれた環境と共生できる都市をいいます。

## まちづくりのキーワード：安心

### (1) 目標

住みよく、安心して暮らせる生活環境を創ります。

### (2) 目指すべきまちの姿

- ・ 市街地や各地域拠点においてコンパクトな生活環境が形成され、誰もが安心してまちを歩いています。
- ・ 高齢者や障害者も安心して暮らすことができ、若者が集う魅力的なまちが形成されています。
- ・ 学生も住みやすく、学園都市にふさわしいまちになっています。
- ・ 住んでいる地域に愛着をもち、生涯安心して生活し続けることができるコミュニティが形成されています。
- ・ 子供たちを安心して育て学ばせることができる環境がつくられています。
- ・ 産業の振興により、安心して働ける場が確保されています。

### (3) 取組内容

#### 生活環境

車に頼らず移動できる街なか空間を創ります。  
都市環境整備について、面的・量的整備から安全性や利便性を高める質的整備に転換し、適切な維持管理及び更新を進めます。  
利便性・効率性の高い生活交通により、中山間地域や郊外の各地域内、地域間及び中心市街地への移動手段の確保を進めます。  
市民と学生の交流機会を創り、学生が住みやすく、にぎわいのある街なか空間を創ります。  
災害に強く、事故の起こりにくい安全な都市環境を整備します。

#### 健康福祉

市民によく知られ、すぐにつながる医療・福祉のセーフティネットを構築します。  
地域住民による共助の関係を築き、高齢者や障害者等も安心して生活できる地域づくりを進めます。  
保健・医療・福祉・教育・地域が連携し、安心して子育てできる環境を創ります。

#### 教育文化

地域に愛着を持ち、住みやすく学びやすい教育環境づくりを進めます。  
医療・福祉と連携して、発達障害等のある子供たちに対して、きめ細かく的確な教育環境を整備します。  
老朽化している学校施設の効率的な改修を進めます。

#### 産業振興

空き店舗等を活用した若者の起業機会を創り、中心市街地の活性化を図ります。  
主産業である工業を始めとした産業の振興により、雇用の確保を図ります。  
耕作放棄地の解消を図るとともに、農業の担い手を育成します。

まちづくりのキーワード：健康

### (1) 目標

市民みんなが参加して、健康づくりの輪を広げます。

### (2) 目指すべきまちの姿

- ・ 市民一人ひとりの健康づくりへの意識が高まっています。
- ・ 農水産物の地産地消による健康づくりが市民に浸透しています。
- ・ ボランティア活動や地域活動に楽しんで取り組む市民が増加しています。
- ・ 地域医療が市民の健康づくりをしっかり支えています。
- ・ 都市環境の整備に、健康への配慮が優先されています。

### (3) 取組内容

#### 生活環境

市民の健康増進のため、自然を生かし、ウォーキングなどができる公園緑地の整備、活用を進めます。

ボランティア活動や地域活動に参加しやすい仕組みづくりを進めます。

#### 健康福祉

健康についての取組を、個人の心身の健康づくりから、人を取り巻く環境づくりへ広げ、生活環境、教育文化、産業振興などの諸活動との連携を強化します。

本当に必要な医療が受け続けられるよう、市民の理解と協力のもと、しっかりとした医療体制を確保します。

医療施設が不足している地域においても適切な医療が受けられるように、医療連携体制の充実と移送体制の強化を図ります。

団塊世代を始めとした高齢者が、役立ち感や居場所を実感できる地域づくりをします。

#### 教育文化

市民の健康づくりに寄与するスポーツ活動や地域行事を支援します。

地域、学校、家庭における食育を推進します。

地場の食材を使用した学校給食を充実させます。

#### 産業振興

消費者と生産者の結びつきを深め、農水産物の販売・流通ルートを確立・強化し、地産地消を推進します。

## まちづくりのキーワード：市民力

### (1) 目標

人ちから を高め、市民力を伸ばします。

### (2) 目指すべきまちの姿

- ・ 宇部市の歴史や彫刻などの文化が市民の誇りとともに継承されています。
- ・ 地域の文化や歴史に対する子供たちの関心が高まり、地域への愛着が深まっています。
- ・ 地域コミュニティを核とした、福祉や教育にかかわる地域活動が充実しています。
- ・ 市民と高等教育機関や学生との間に強い協力関係が築かれています。
- ・ 高齢者も障害者も若者も、誰もが得意分野を生かし社会に貢献しています。

### (3) 取組内容

#### 生活環境

彫刻によるまちづくりや環境活動などに市民が関心を持ち、楽しみながら参加できる機会をつくります。

市民一人ひとりがお互いの人権を尊重し合い、共に成長する社会づくりを進めます。

#### 健康福祉

ふれあいセンターなどを活用し、地域コミュニティの中に、年齢や障害の有無にかかわらず、いろいろな人が気軽に集い、共に活動できる場をつくります。高齢者が知識と経験を生かし、生涯現役で生きがいをもって社会参加できる環境を整備します。

障害者もそれぞれの特色を生かし、自立して当たり前で暮らせる環境を整備します。

#### 教育文化

多様な高等教育機関と連携し、特色ある教育の取組を進め、宇部市の将来を担う人材を育成します。

学校と地域が連携して、地域コミュニティを育成するとともに、地域の高齢者の豊富な知識や経験を学校教育や社会教育に生かす取組を進めます。

彫刻や地域資源とのふれあいによる文化・歴史教育を通じて、子供のふるさとへの愛着心を育成します。

国際交流を通じ、異文化を理解、尊重し、グローバルな視野に立って行動でき、又は国際社会に貢献できる人材を育成します。

#### 産業振興

高齢者や若者などの知識・技能を、地域づくりや産業活動に生かせる機会をつくります。

### 「人ぢから」

自分の持っている能力や特技、特性、意欲などを生かし、ふるさと宇部に愛情と誇りを持ち、自分たちのまちをよりよくしようとする郷土愛の力を意味します。

## まちづくりのキーワード：地域ブランド

### (1) 目標

地域資源活用による“宇部ブランド”を創造・発信します。

### (2) 目指すべきまちの姿

- ・ 農・林・漁・商・工連携により地域特産品が生まれ、新たなブランド化、ビジネス化が進んでいます。
- ・ 彫刻や産業観光などの地域資源の活用により宇部市の都市イメージを確立し、交流人口が増えています。
- ・ 高等教育機関が教育・研究・コンベンションなどの活動を通じて、本市のブランド化に貢献しています。
- ・ 障害者の就労促進のような市民の先駆的取組が全国的に知られています。
- ・ 環境問題に関する経験や手法を伝えることにより、国際社会に貢献しています。

### (3) 取組内容

#### 生活環境

UBEピエンナーレや野外彫刻のPR、彫刻にかかわるボランティア活動などを通じ、宇部市の彫刻の文化を次世代に伝え、継承します。

「宇部方式」により環境問題を克服した経験を諸外国に伝えるため、広く世界から研修生を受け入れ、国際環境協力を進めます。

地球環境検定の全国展開に向けた支援を行います。

#### 健康福祉

障害者就労の先進都市を目指し、先進的な取組を更に発展させます。

#### 教育文化

宇部市の歴史や彫刻とふれあうことができる学校教育、社会教育を進めます。常盤公園などの地域資源を、親子の健康づくりとふれあいの場、地域の歴史などを学ぶ場として活用します。

#### 産業振興

農・林・漁・商・工の連携により、新たなブランド化、ビジネス化を進めます。

第一次産業の振興と内需拡大のため、地産地消を推進し、消費拡大を目指した生産・販売・流通体制づくりを進めます。

宇部市の歴史や彫刻、常盤公園、産業観光などの観光資源の情報発信により都市イメージのブランド化を図ります。

高等教育機関などと連携し、山口宇部空港を活用したコンベンションの誘致を進めます。

高等教育機関や企業の技術力を生かし、産学官連携により新産業を創造します。

健康志向が高まる中、宇部市の地域資源や医療施設を活用し、新たな観光ビジネスの創出を図ります。



## 「宇部ブランド」

宇部市が持つ様々な有形・無形の地域資源、資産により、多くの人を引き付ける宇部市というまちの都市イメージをいいます。

宇部ブランドになり得ると考えられる既存の地域資源としては、次のようなものが挙げられます。

UBEピエンナーレをはじめとした「彫刻によるまちづくり」

グローバル500賞受賞都市としての「環境への取組」

工業都市としての歴史と文化に触れることのできる「産業観光」

山口県の空の玄関として市街地近くに立地する「山口宇部空港」

理科系を中心に高等教育機関が集積した「学園都市」

日本都市公園100選やさくらの名所100選にも選ばれた「常盤公園」 など

## 「地球環境検定」

平成21年(2009年)7月に設立された一般社団法人「地球環境検定機構」が全国的に実施しようとしている、環境をテーマにした検定試験で、知識のみならず、環境対策の実践をも検定項目に加え、環境に配慮した生活習慣を身に付けさせることを目的とした新しい検定システムをいいます。

### 3 まちづくり戦略の目標

5つのまちづくりのキーワードに掲げた取組を効果的に進めることにより、市民が生活を送る上での満足度や市外からの本市の認知度を向上させることを目標とします。

そのため、下表に掲げた指標の数値が向上するように、今後、4年ごとに行う実行計画の策定に際しては、満足度や認知度について追跡調査し、それらの数値の変遷をもとに各施策の検証を行った上で、より有効な施策や取組を新たな実行計画に反映させる必要があります。

なお、まちづくりのキーワードごとの指標の現状値（満足度等の数値は、平成20年（2008年）時点での調査結果）は、以下のとおりとなっています。

#### < 参 考 >

キーワード	指 標	指 標 の 考 え 方	現 状 値
環 境	「環境共生都市づくりの推進」の満足度	環境に関する取組を市民と共有し、市民の満足度の向上を目指す。	51.9%
	「環境共生都市」としての認知度	全市民的な環境への取組により、環境都市としての認知度向上を目指す。	3.6%
安 心	「安全な暮らしの確保」の満足度	施設・基盤整備や地域での見守りなどにより、安全な暮らしの市民の満足度の向上を目指す。	54.6%
	「住みやすい」と思う市民の割合	市民一人ひとりが安心して生活できる、市民の「住みやすさ」の向上を目指す。	59.7%
健 康	「健康づくりの推進」の満足度	市民一人ひとりの健康づくり活動を支援し、活動する市民の満足度の向上を目指す。	52.4%
	「地産地消への取組」の満足度	新鮮で安心な地場の農水産物を提供し、消費する市民の満足度の向上を目指す。	40.0%
市民力	「地域文化の継承と創造」の満足度	宇部市の歴史や彫刻などの文化や市民の誇りを継承し、市民の満足度の向上を目指す。	48.2%
	「幼児教育・学校教育の充実」の満足度	学校教育に高等教育機関や地域資源がかかわる機会を増やし、教育内容を充実させることにより、市民の満足度の向上を目指す。	47.7%
地域ブランド	宇部市への来訪意向	宇部市のブランド力を高め、PRすることにより、宇部市への来訪意向の向上を目指す。	52.2%
	観光客数	観光資源の活用や宇部市の都市イメージの確立により、観光客の増加を目指す。（現状値は市集計による）	約43万人 (平成20年度)